

ASO Saburo: The Sangenjaya Years and Ben Shahn



北側の仕事場の窓をあけると道路があって川が流れていて
その向こうに細い道がずっとすこし登り坂になって見えた。
わたしはこの細い道をその周囲の家をながいあいだ描きつづけてきた。

——麻生三郎「川の向こうの道に住む人々」[絵として、時]中央公論美術出版、1986年より

麻生三郎(三軒茶屋) 1959年 神奈川県立近代美術館蔵

麻生三郎展 三軒茶屋の頃、そしてベン・シャーン

4/22(土)²⁰²³—6/18(日) 開館時間:午前10時—午後6時(入場は午後5時30分まで)
休館日:毎週月曜日[ただし5月1日(月・祝)は開館]

観覧料:一般1,200円、65歳以上1,000円、大高生800円、中小生500円

※障害者の方は500円、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料(予約不要)。
※未就学児は無料(予約不要)。※高校生、大学生、専門学校生、65歳以上の方、各種手帳をお持ちの方は、証明できるものをご提示ください。
※ご入館に際しては感染症予防のため、手指消毒、検温にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、マスクの着用を推奨しております。
※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。

主催:世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団)
後援:世田谷区、世田谷区教育委員会
特別協力:神奈川県立近代美術館

世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
Tel.03-3415-6011(代表) <https://www.setagayaartmuseum.or.jp>
展覧会のご案内:050-5541-8600(ハローダイヤル)

●本展では、展示室内の混雑を避けるため、「日時指定券」を2023年4月1日(土)正午より販売します。
(オンライン・クレジット決済、またはd払い)
●オンラインでのご購入が難しい方、アーツカード等の各種割引をご利用の方は、美術館窓口で「当日券」をご購入ください。ただし、来場時に予定数の販売が終了している場合があります。あらかじめご了承ください。
オンラインチケット販売サイト
<https://www.e-tix.jp/setagayaartmuseum/>



麻生三郎展 三軒茶屋の頃、 そしてベン・シャーン

ASO Saburo
The Sangenjaya Years
and Ben Shahn

現代の人間像を鋭く見詰め、戦後美術に確かな足跡を印した画家・麻生三郎(1913-2000)。その生誕110年を記念し、麻生が世田谷に住んだ25年間に焦点を定めた展覧会を開催いたします。

戦争末期の空襲で豊島区长崎のアトリエを失った麻生は、1948年、世田谷区三軒茶屋にアトリエを構えました。この再出発の地から《ひとり》(1951年)や1950年代半ばにくり返し描いた《赤い空》など、戦後復興期の代表作が生まれました。1960年代には、安保闘争やベトナム戦争といった社会問題に麻生は作品を描くことで向き合い、個の尊厳をきびしく問います。一方、虫や小鳥など、身近なものにも澄んだまなざしを向けました。しかし、首都高速道路や地下鉄の建設工事で制作環境が悪化し、1972年、麻生は川崎市多摩区生田へと転居しました。

本展では、麻生が三軒茶屋時代に描いた油彩、素描あわせて約110点をはじめ、野間宏、椎名麟三など文学者たちとの交流を示す挿絵や装丁の仕事も集め、時代と対峙した、その創作の軌跡をたどります。

また、この時期に麻生が強く惹かれ自ら作品を蒐集した作家に、20世紀アメリカを代表する社会派の画家ベン・シャーン(1898-1969)がいます。その人生の集大成といわれる版画集『一行の詩のためには…:リルケ「マルテの手記」より』全24点を含む麻生旧蔵の作品群も本展でご紹介します。

麻生三郎が描きだした時代の情景、そして深々と共感したベン・シャーン作品をあわせてご覧いただき、その重なり合いを今、味わっていただければと思います。



自宅前にて妻、娘とともに (1950年 撮影:土門拳、土門拳記念館蔵)

● 関連イベント

● レクチャー1 「麻生三郎と出会って—その人と作品」

講師:原田 光氏(美術評論家)
日時:5月27日(土)午後2時~午後3時(開場:午後1時30分)
会場:講堂 | 定員:先着90人 | 参加費:無料
※当日正午より美術館エントランスにて入場整理券を配布 ※手話通訳付き

● レクチャー2 「麻生三郎アトリエを記録する」

講師:三上 豊氏(編集者、東京文化財研究所客員研究員)
日時:6月4日(日)午後2時~午後3時(開場:午後1時30分)
会場:講堂 | 定員:先着90人 | 参加費:無料
※当日正午より美術館エントランスにて入場整理券を配布 ※手話通訳付き

● ミニレクチャー 「30分でよくわかる! 麻生三郎展のポイント」

担当学芸員が展覧会のねらいや見どころをわかりやすく解説します。
日時:5月6日(土)、5月14日(日)、6月17日(土)
いずれも午後3時~午後3時30分
会場:講堂 | 定員:先着90人 | 参加費:無料
※当日午後2時30分より美術館エントランスにて入場整理券を配布
※手話通訳付き

● 100円ワークショップ

小さなお子様から大人の方まで気軽に楽しめる工作など。
日時:会期中の毎土曜日 午後1時~午後3時
会場:地下創作室 ※予約不要、随時受付 ※入室は一度に20人まで
参加費:1回100円

● 同時開催展

ミュージアム コレクション I
「山口勝弘と北代省三展—イカロスの夢」
4月22日(土)—7月23日(日)

● 次回企画展

「シャガール 版にしろした光の詩」
神奈川県立近代美術館コレクションから
7月1日(土)—8月27日(日)



交通案内

●東急田園都市線「用賀」駅下車 北口から徒歩17分 もしくは 美術館バスA「美術館」下車徒歩3分 ●小田急線「成城学園前」駅下車 南口から渋谷駅行きバスB「站町」下車徒歩約10分 ●小田急線「千歳船橋」駅下車 田園調布駅行きバスC「美術館入口」下車徒歩約5分 ●来館者専用駐車場(無料、60台) 東名高速道路高架下 厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分

世田谷美術館 〒157-0075
東京都世田谷区砧公園1-2
SETAGAYA ART MUSEUM Tel.03-3415-6011(代表)

展覧会のご案内:050-5541-8600(ハローダイヤル)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>



1



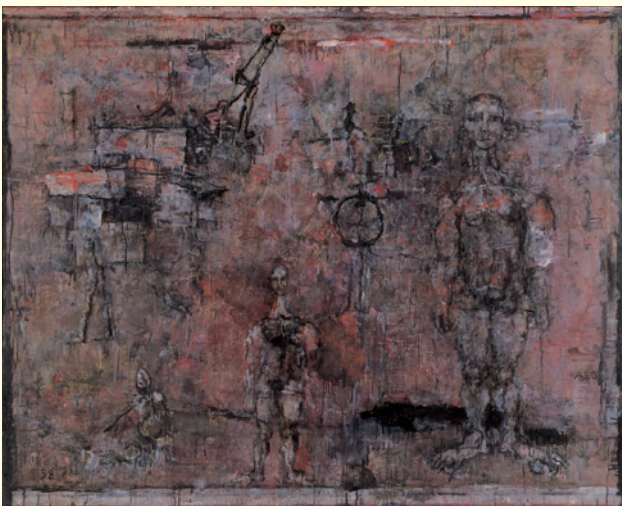
2



3



4



5



6

- 1—《馬事公苑》1958年 世田谷美術館蔵
- 2—《三軒茶屋》1963年 世田谷美術館蔵
- 3—《ひとり》1951年 個人蔵
- 4—《赤い空》1956年 東京国立近代美術館蔵
- 5—《人》1958年 神奈川県立近代美術館蔵
- 6—《母子》1948年 個人蔵